

GLP-1受容体作動薬  
GIP/GLP-1受容体作動薬  
フォーミュラリ  
(内外兼)

GLP-1受容体作動薬  
GIP/GLP-1受容体作動薬

成人の場合

Ver.2.0 2026年04月  
HP用

2型糖尿病

注射の受け入れ

可

不可

BMI < 23kg/m<sup>2</sup>  
もしくは75歳以上

非該当

該当

推奨薬

チルゼパチド  
セマグルチド  
デュラグルチド

推奨薬

セマグルチド  
デュラグルチド

参考（合剤）

- ・リラグルチド+インスリンデグludeク\*\*
- ・リキシセナチド+インスリングルルギン\*\*

推奨薬

セマグルチド\*

↓ 起床時等の服用  
↓ が難しい場合

他剤へ変更  
を検討

※1日の最初の食事又は  
飲水の前に服用  
(例：起床時服用)

\*\*：院外のみ

	GLP-1受容体作動薬					GIP/GLP-1受容体作動薬						
商品名	トルリシティ皮下注0.75mg アテオス	オゼンピック皮下注2mg	リベルサス錠 3mg/7mg/14mg			マンジャロ皮下注 2.5mg/5mg/7.5mg/10mg/12.5mg/15mg アテオス						
一般名	デュラグルチド	セマグルチド					チルゼパチド					
投与経路	皮下注射		経口			皮下注射						
薬価(円)	2,699	11,151	3mg	7mg	14mg	2.5mg	5mg	7.5mg	10mg	12.5mg	15mg	
			143.1	333.8	500.7	1,924	3,848	5,772	7,696	9,620	11,544	
院内	●	●	●			●	●					
院外	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
規格/液量	0.75mg/0.5mL	2mg/1.5mL	—			すべて0.5mL						
用法用量	1週間に1回		1日1回			1週間に1回						
	0.75mg/回	0.25mg/回から開始 1.0mg/回まで増量可	3mg/回から開始 14mg/回まで増量可			2.5mg/回から開始 15mg/回まで増量可						
注意事項	DPP-4阻害剤との併用による有効性及び安全性は確認されていない											
空打ち	なし	初回のみ	—			なし						
血中濃度半減期	108時間	145時間(0.5mg)	161時間			146時間						
		163時間(1.0mg)										

		GLP-1受容体作動薬/持効型インスリン 配合剤	
		短時間作用型	長時間作用型
商品名		ソリクア配合注	ゾルトファイ配合注
一般名 (GLP-1/持効型インスリン)		リキシセナチド/ インスリングルルギン	リラグルチド/ インスリンデグルデク
投与経路		皮下注射	
薬価 (円)		4,195	3,404
院内			
院外		●	●
総量 1ドーズ量		300 $\mu$ g・300単位/3mL 1 $\mu$ g・1単位/1ドーズ	10.8mg・300単位/3mL 0.036mg・1単位/1ドーズ
用法・用量		1日1回	
		5-10ドーズ/回から開始 20ドーズ/回まで増量可	10ドーズ/回から開始 50ドーズ/回まで増量可
注意事項		DPP-4阻害剤との併用による有効性及び安全性は 確認されていない	
空打ち		毎回	毎回
薬物動態 (GLP-1製剤)	血中半減期	2.12時間 (10 $\mu$ g)	13-15時間
		2.45時間 (20 $\mu$ g)	
	作用時間	15時間	24時間超

# 選定基準 (Ver.1.0)

- 血糖降下作用に加えて、体重減少が期待できるGLP-1受容体作動薬・GIP/GLP-1受容体作動薬は肥満症例に良い適応と言われている。一方で、高齢者や痩せの症例に対してはサルコペニアやフレイルなどの老年症候群のリスクを高める危険が指摘されている。<sup>2),4)</sup>。とくにGIP/GLP-1受容体作動薬は臨床試験で体重減少が著明である事が確認されているため、安全な治療選択ができるよう同一のフォーミュラリとして作成した。
- チルゼパチドはBMI 23kg/m<sup>2</sup>未満の症例や高齢者(特に75歳以上の後期高齢者)の使用実績がないため、週1製剤を検討する際の条件として提示した<sup>1)</sup>。
- セマグルチドはデュラグルチドに比べHbA1c低下が大きく有効性が高い。対してデュラグルチドは胃腸障害の発現割合や自己注射手技の簡便さから安全性が高い。この2剤は優劣を付けず、並列で表記することとした<sup>3)</sup>。
- 内服薬であるセマグルチドは胃吸収である点や食事によって吸収低下することから早朝空腹時の服用が必要な薬剤である。注射薬を拒否し、早朝空腹時の服用もできない場合を考慮し、「他剤への変更を検討」項目を記載した。

## GLP-1製剤受容体作動薬の選択基準<sup>3)</sup>

COMING study（日本人の2型糖尿病がある方におけるセマグルチド及びデュラグルチド週1回の投与の有効性および安全性の比較検討）

HbA1cの変化	: セマグルチド>デュラグルチド	有意差あり
HbA1c7.0%未満達成割合	: セマグルチド>デュラグルチド	有意差あり
副作用発現割合（胃腸障害）	: セマグルチド>デュラグルチド	
体重減少（副次評価）	: セマグルチド>デュラグルチド	有意差あり
薬価（※セマグルチド0.5mg/週の場合）	: セマグルチド≒デュラグルチド	

## GLP-1受容体作動薬とGIP/GLP-1受容体作動薬の比較<sup>1)</sup>

- 臨床第III相試験では、チルゼパチド単独投与により空腹時及び食後の高血糖を改善し、52週時点でのHbA1c減少量でデュラグルチドに対する優越性を認めた。
- 臨床第III相試験では40週時点でのHbA1c減少量及び体重減少量でセマグルチドに対する非劣勢及び優越性を示した。

# 改訂理由 (Ver.2.0)

- リラグルチドの販売中止にともない、リストから削除した。
- HP用の「BMI<23kg/m<sup>2</sup>もしくは75歳以上」に非該当の3剤について、院内ではチルゼパチドを第1推奨、その他を第2推奨としていたが、患者によっては幅広い選択が必要となること、作用機序が異なることから推奨度は同列とした。

Ver.	改訂年月	内容
1.0	2026年3月	初版
1.1	2026年3月	薬価改訂を反映
2.0	2026年4月	リラグルチド販売終了にともない、リストから削除 ホームページ公開用は推奨度を付けずに分岐

# 参考文献

1. 糖尿病診療ガイドライン2024. 南江堂. 2024.
2. 各薬剤のインタビューフォーム
3. Kimura T. *et al.* Comparison of clinical efficacy and safety of weekly glucagon-like peptide-1 receptor agonists dulaglutide and semaglutide in Japanese patients with type 2 diabetes: Randomized, parallel-group, multicenter, open-label trial(COMING study) *Diabetes Obes Metab.* **2023** Dec.
4. 2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム (第2版) *糖尿病*66.10.715-733,2023
5. Onishi Y. *et.al.* Analysis of efficacy and safety of dulaglutide 0.75 mg stratified by sex in patients with type 2 diabetes in 2 randomized. controlled phase 3 studies in Japan. *Endocrine Journal.* **2017.** 64(5). 553-560.
6. Miyagawa J. *et.al.* Once-weekly glucagon-like peptide-1 receptor agonist dulaglutide is non-inferior to once-daily liraglutide and superior to placebo in Japanese patients with type 2 diabetes:a 26-week randomized phase III study *Diabetes. Obes. Metab.* **2015.** Oct;17(10):974-83.
7. Inagaki N. *et.al.* Efficacy and safety of tirzepatide monotherapy compared with dulaglutide in Japanese patients with type 2 diabetes (SURPASS J-mono):a double-blind, multicenter, randomized, phase 3 trial. *Lancet Diabetes Endocrinol.* **2022.** Sep;10(9):623-633.
8. Kaku K. *et.al.* Superior efficacy with a fixed-ratio combination of insulin degludec and liraglutide(IdegLira) compared with insulin degludec and liraglutide in insulin-naïve Jananese patients with type 2 diabetes in a phase 3, open-label, randomized trial *Diabetes Obes. Metab.* **2019.** Dec;21(12):2674-2683.